

小説

『平場の月』

朝倉 かすみ 著

生まれてからずっと同じ土地で育ち働き、老いてきた元男子と元女子たち。病院の売店で、中学以来の再会を果たした青砥と須藤。50歳になった男と女が、心の隙間を埋めるように静かに滾るリアルな恋。ちょうどよいあわせの形を求める男女を描く大人の恋愛小説です。

小説

『作りかけの明日』

三崎 亜記 著

10年前、地下プラントである実験が失敗、世界を滅ぼしうる物質を生み出してしまふ。漏出は食い止めたもののその時壁に謎の数字が浮上する。日々数を減らすそれは、終末へのカウントダウンかと思われていた。やがて数字がゼロに近づき、終末思想が蔓延する中、実験に関わる組織が物質の管理を巡って対立する。

小説

『ゴールデン街コーリング』

馳 星周 著

「日本冒険小説協会公認酒場」と銘打ったバー〈マーロウ〉のアルバイト坂本は、本好きが集まるこの店で働いていた。田舎から出てきた坂本にとって、マーロウで文芸談義できる日々は店主の酒癖の悪さを除いて満足していた。しかしある日、街で放火未遂事件が起こり、取締りの為、見回りをしていた常連の「ナベさん」が殺される。坂本は犯人捜しに立ち上がるが…。

小説

『駄目な世代』

酒井 順子 著

芸人の平野ノラの芸を見るとどこか痛々しいけど、もっとネタを提供したい！高度成長期から現在までの間で、最も華やかで活気にあふれていたいわゆる「バブル世代」。その時代の中心で生きた「時代の申し子」である著者が、バブル世代とは何だったのかをあらゆるテーマから振り返り、斬り込む、新しい世代論です。

小説

『姫君の賦 千姫流流』

玉岡 かおる 著

天下泰平のため幼くして豊臣秀頼のもとへ嫁いだ徳川家康の孫娘・千姫。だが徳川と豊臣の争いを止めることはできず、大阪城は落城。再婚した本田忠刻の愛に包まれて、穏やかな日々を送るが…。悪名を浴びながらも戦国最後の姫として生きた千姫の波瀾の生涯とは。

趣味 実用

『やっぱり、それでいい。』

細川 貂々・水島 広子 著

人間関係で一番大事なことは「人の話を聞くこと」！人の話を聞くのがニガテな漫画家・細川貂々が、対人関係療法の第一人者・水島広子に精神科医の〈聞く技術〉を学びに行くコミックエッセイ。ベストセラー「それでいい。」の続編、ついに登場！

趣味 実用

『リベラルVS. 力の政治』

ニーアル ファーガソン
ファリード ザカリア 著

「リベラルな国際秩序」に対する不安が広がる今、カナダの討論番組で「リベラルな国際秩序は終わったのか？」をテーマとして取り上げ、「世界を代表する知性」である二人が討論した内容を書籍化。議論から導かれる、今の世界を取り巻くリベラルやグローバリゼーションの本質とは。

趣味 実用

『捨てる。引き算する勇気』

やました ひでこ 著

デスクの両脇に書類を積んでいる人で仕事ができる人はいない。「断捨離のカリスマ」による初めての本格的ビジネス書。モノが溜まるということは〈いつか〉〈どこかで〉〈だれかが〉使うかもしれないという幻想で仕事が滞る元凶です。余計なモノを捨てて自分の個性と強さを見つける。ビジネスのための断捨離の指南書です。

趣味 実用

『モチーフをつないで作る 動物のあみぐるみ』

城戸 珠美・横田 美奈 著

かぎ針で編む四角形や八角形のカラフルなモチーフを編みつないで楽しめる、動物のあみぐるみの登場です。同じ編み方でも糸を変えると大きさが変わり、モチーフも一段ごとに色を変えられるのでアレンジや組合せは無限大！

趣味 実用

『平成犬バカ編集部』

片野 ゆか 著

かつて番犬と呼ばれていた日本の犬たちは平成に入ると室内で飼われるようになり、人との距離は驚くほど縮まった。家族とまで呼ばれるようになった犬たち、そんな激動の犬現代史を、出版社で崖っぷちだった男が立ち上げたこの国初めての日本犬専門誌「Shi-Ba」の創刊秘話と共に送る、「犬バカ」の方必読の本です。